

来月10日まで参加募集

浜の絶景、復興感じて

浜通りを中心に開催する「ツール・ド・ふくしま2026」のサイクリング部門は5月10日まで参加者を募っている。いわき浜海道ライド100「あぶくま山岳グルメライド80」「ならはグラベル40」の4コースがあり、大会初日の6月13日に実施する。

各コースとも美しい風景を楽しみながら東日本大震災と東京電力福島第1原発事故からの復興を肌で感じられる。コースの各所に「エイドステーション」を設け、地域色豊かな食を振る舞う。各コースの概要はスガ変更になる場合がある。一部コースの概要はスガ変更になる場合がある。



大会サイトにつながるQRコード

◆「いわき浜海道ライド110」
発着点は天神岬スポーツ公園（榎葉町）。富岡町、広野町、いわき市を巡る。いわき市のいわき新舞子ハイッで昼食を味わう。対象は中学生以上、定員は500人。参加費は一般（高校生以上）9500円、中学生（保護者同伴が必要で2人分）1万4千円。

◆「ふくしま復興ライド80」
発着点は天神岬スポーツ公園。富岡町から川内村に入り、いわなの郷で昼食を楽しむ。対象は中学生以上、定員は300人。参加費は一般（高校生以上）7千円、中学生（保護者同伴が必要で2人分）1万500円。

◆「ならはグラベル40」
榎葉町が町制施行70周年記念イベントの一環として主催する。天神岬スポーツ公園を発着点とし、町内の舗装路や未舗装の林道を織り交ぜたコースを巡る。昼食はゴール後。対象は中学生以上、定員は150人。参加費は一般（高校生以上）3千円、中学生（保護者同伴が必要で2人分）5千円。

◆「あぶくま山岳グルメライド40」
川俣町の峠の森自然公園が発着点。飯館村を巡る。川俣シャモの丸焼きや飯館産牛を使ったメニューなどを提供する予定。対象は小学4年生以上、定員は50人。参加費は一般（高校生以上）9千円、中学生（保護者同伴が必要で2人分）1万3千円、小学生（同）1万2千円。

あぶくま山岳グルメライド40

ならはグラベル40

ふくしま復興ライド80

いわき浜海道ライド110

ある。大会ホームページから専用サイトにアクセスして申し込む。問い合わせは大会事務局の福島民報社事務局 電話024（531）4171（平日午前10時～午後5時）へ。



専用サイトにつながるQRコード

市民ボランティア募集集中

大会運営支援、来月20日まで
大会事務局は「ツール・ド・ふくしま2026」の運営を支援する市民ボランティアを5月20日まで募っている。天神岬スポーツ公園

（榎葉町）、またはレースを実施する各コース周辺。主な活動内容は、参加者の受け付けや参加賞の配布、給水の運営など。16歳以上（高校生の場合は、保護者の同意が必要）が対象。活動時に着用する大会オリジナルTシャツを支給する。大会公式サイトの手続きから申し込める。問い合わせは大会事務局へ。

天神岬のキャンプ企画も6月5日まで

「ツール・ド・ふくしま2026」に合わせ、6月13、14の両日、榎葉町の天神岬スポーツ公園を会場に開催するキャンプイベント「NARAHAVE LOBASE」は、6月5日午後6時までに参加者を募っている。初日は花火やたき火、トークショーなどを催す。最終日は天神岬スポーツ公園を発着点に行われる自転車レースの選手を応援する。参加費はソロ3300円、グループ8800円。専用サイトから申し込み。

弱虫ペダル 応援継続

主人公の掲出、関連グッズ販売



弱虫ペダル主人公の小野田坂道 ©渡辺航（秋田書店）2008

「ツール・ド・ふくしま2026」には前回同様、小野田坂道のキャラクターが人気漫画の「弱虫ペダル」（秋田書店、ツツ公園に掲出される少年チャンピオン）の応援が決定した。主人公の